



三方よし! 近江日野 “田舎体験” を推進しています

「三方よし! 近江日野田舎体験推進協議会」では、田植えや稲刈りなど、あるがままの日野町の資源を活かした「ほんまもん体験」を通して、訪れる人々（買い手）に心からの感動を伝え、迎えるもの（売り手）の町や生業なりわいに対する自信や誇りを呼び戻し、地域（世間）に元気、活力と経済的活性化をもたらす感動体験の旅を提供していきます。



▲畑でさつまいも掘り（寺澤家）

採った野菜などを料理できること

Q. 体験しての感想は?

一泊することの良さは、実際に
然違います。

Q. 日野の印象は?

もって田舎かと思っていました。
とても自然が多くて、虫の数が全

Q. 参加したきっかけは?
稲刈り体験がないかと探してい
たときに、ラジオ (a-station)
で「農家民泊」のことを知りまし
た。5組というのを聞いて急いで
申し込みました!

寺澤家

9月13日(土)、14日(日)の2日間、日野町内の2軒のご家庭で「農家民泊体験」が行われました。三十坪の寺澤清穂さん・昌子さん宅には、ご夫婦と4歳と1歳の男の子の4人家族が、深山口の白井宗一郎さん・利子さん宅では、女性お一人が体験されました。今回参加された2組にお話をお伺いしました。

秋の实り収穫と農家民泊体験



▲夜は受け入れ家族と一家団らん（寺澤家）

です。ご家族と一緒に料理ができたり、お漬物の漬け方を教えてもらえるのもいいですね。このような体験に興味を持った方は多いと思います。「稲刈りツアー」に参加すると、親子連れも多い。もっと広く知らせれば、たくさんの方が参加されると思います。

白井家

Q. 参加したきっかけは?

「GREENー農家のヨメになりたい」という漫画を読んで、農業に興味を持ちました。ちょうどその時に、ラジオ (a-station) で、この体験のことを知りました。

今、さまざまな食の問題がある中で、食の安全や自給自足の方向



▲夕御飯の準備を一緒に（白井家）

性を自分の目で見てみたい、自分で農業の実態を見てみたいという思いがありました。

Q. 日野の印象は?

竜王インターから日野町に向かって車で来ましたが、続く山道を見ながら田舎だなあと思いました。

Q. 体験しての感想は?

思っていた以上に農業は大変だと思えました。日焼けもするし、汗もびっしょり。体験の場合、楽しみとして農業をしているので楽しいですが、仕事としてするとなると大変なのではと思います。
(地域の皆さんが) 初めて会う人にも良くしてくださいました。皆さんが仲良しなのがうらやましいです。

民泊家庭と参加者は、ほんのひとときの時間を共有しただけですが、互いに多くのことを学ぶ機会になったようです。